



子供の数だけみんな違う「おはようございます」

令和6年度も2か月が過ぎ、1年生も入学、日々の授業、給食、清掃、そしてスポーツ祭をはじめとする様々な学校行事と、いろいろなことを経験し、美乃浜学園での生活にも少しずつ慣れてきました。2年生以上の子供たちも、新しい環境、上級生、最上級生という立場にも慣れてきました。各学年とも授業や行事に向けた準備を通して、班で、クラスで、学年で、一緒に活動しながら固さがとれてきています。朝、立哨指導をしている際の子供たちの「おはようございます」のあいさつも4月初めの頃の固さがとれてきたのを感じます。大きな声で「おはようございます」。コクリと会釈の「おはようございます」。マスク越しでもはっきり笑顔とわかる「おはようございます」。恥ずかしいけど勇気を出しての「おはようございます」・・・子供の数だけみんな違う「おはようございます」があります。

心のドアノブは内側にしかついていない

心の扉は他人がいくら開けようとしても開かないものです。しかし、相手に対して信頼・信用が生まれると開こうとする——それが心の扉です。そして、その扉を開くカギとなる「第一歩」、それがあいさつではないでしょうか。「おはようございます」——それだけでは、「ありがとう」のような感謝の気持ちも、「すみません」のような謝罪の気持ちも伝わりません。その語源は歌舞伎から来ているというのが有力なのだそうです。現在はそれだけでは特別な意味を相手に伝えない言葉です。しかし、この魔法の言葉をお互いが発した時、同じ社会・集団の仲間だという気持ちが高まります。学校の「仲間」、家庭内の「仲間」、住んでいるまちの「仲間」。今、多くの学校で「あいさつ運動」を行っています。学校・家庭・地域が連携して、いろいろな角度から子供たちの成長を見守っています。共に生活している集団の「仲間」として、良い「芽」を伸ばして、一人ひとりがもつ可能性という名の大きな花を咲かせ、見事な実を实らせる姿を、毎日正門前に立ってあいさつを続けながら、これからも見守っていきたいと思っています。(校長 中原 悟)

美乃浜スポーツ祭「笑超異寿徒『EGOIST』お前がNo.1だ！」

5月21日(土)天候に恵まれ、清々しい青空の下、1~9年が協力し合うアットホームな美乃浜学園らしいスポーツ祭となりました。全身で元気いっぱい頑張る1年生に、笑顔で寄り添う優しい9年生。自分の役割を一生懸命果たそうとする係の子供たち。目を輝かせて生き生きと踊る1・2年、3・4年の表現と、それを見て一緒に盛り上がる上級生。気迫と団結力を感じた5~7年、8・9年の団体種目。最終種目の代表リレーも、気合いの入った応援団とともに全校生が一体となって大声援を送っていました。相手を称える拍手の温かさも、美乃浜学園の素晴らしさです。今年も、美乃浜初の敬老種目で、参加してくださった来賓や地域の皆様に、3年生が書いたメッセージカード、8年生が作ったミサンガのキーホルダーをプレゼントしました。また、6年生のリクエストに応じて、職員リレーも実施。児童生徒が笑顔いっぱいの表情で取り組む姿、全力で真剣勝負に挑む姿を見ることができ、教職員一同嬉しく思います。終了後もテントや椅子の片付けに多くの保護者の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。



3年生サツマイモ苗植え体験

5月14日(火)3年生がサツマイモ苗植え体験を行いました。今年も講師の大内様、松浦様に、苗の植え方やコツを教えてくださいました。広大な畑を前に驚きつつみんな一生懸命に苗植えをしました。「もっと植えたい!」と楽しみながら貴重な体験ができました。今後は、工場見学や収穫体験、干し芋づくり体験など総合的な学習の時間で学習していきます。



4・9年生いちご収穫体験

5月29日(水)4年生と9年生が給食のいちごでお世話になっている小池様のご厚意でバインベリー収穫体験をさせていただきました。

4年生の総合的な学習では、地域の特産物を学ぶ機会として、9年生の技術科では、商品となるよりよいいちごをつくるための生物育成の過程や工夫について、各々の目標をもって学習しました。いちごの収穫体験では夢中で収穫し、そのおいしさに誰もが感動していました。地域の素晴らしさを実感し、地域理解につなげる機会となりました。ありがとうございました。



行事を通して充実した時間を!

後期課程にとって大きな行事が目白押し。9年生の奈良・京都修学旅行、8年生の東京校外学習では、歴史に触れながら友情を深める貴重な体験活動ができる機会を大切にしてほしいです。また20・21日には各種目の市総合体育大会が開催されます。今まで部活動等で練習してきた力を発揮する時!今から活躍が楽しみです。

登下校の車での送迎について

6月に入ると梅雨になり、車での送迎が増えます。交通渋滞や事故を防ぐために、平磯方面の方は、校舎周りを走行し、駐車場への「左折進入」のご協力をお願いします。